

日本漢字音と中国漢字音の対応関係について

—中国人日本語学習者が常用漢字の字音を学習するために—

杜 婷婷

1. はじめに

日本語の漢字は和製漢字を除きすべて中国漢字に由来しているため、中国の漢字は、現代日本語の表記に重要な役割を果たしている。一般的に中国人日本語学習者の初級者は元々持っている中国で使われている漢字の知識によって日本語の漢語¹の意味をある程度推測できる。しかし、その漢語の読み方を推測することは困難である。

太陽禹 (2003) は、ある程度の基礎がある学習者は音声だけ聞いて、文脈とともに考えると、勉強していない漢語を判断できるはずであると述べている。太陽禹 (2003) の例文によると

○彼女はこのスポーツを始めて以来、常に怪我と伴って、まさに満身創痕の体で戦い続けていた。

○田中さんは53歳になってから次から次へと名作品を世に送った。大器晩成の人だと言われている。

があげられ、「満身創痕」と「大器晩成」は全て中国語の語彙で、その発音が中国語と日本語と似ており、また規則性があるので、その読み方を推測できると述べている。

しかし、このような日本語での漢語の読み方が推測できる字音がある一方、中国語の字音により日本漢字音を推測しがたい字音もある。現代日本漢字音と現代中国漢字音との間に中国人日本語学習者にとって有用な規則性を見出すことができれば、中国漢字音を媒介として日本漢字音の正確な判断ができ、日本漢字音の学習はより容易になると考えられる。

¹ 日本語の中で、字訓ではなく、字音で読まれる語。また、字音で読まれる漢字から成る熟語。昔、中国から伝わり日本語として定着したもののほかに、日本で作られたものもある。字音語。

言語の体系として、日本語は中国語と体系が異なる。漢字漢語の受容という点で日本語の漢字語彙と中国語は深い関係を持つことになった。そこで、系統の異なる両言語の間に、漢字についての対照研究の必要性があると考えられる。

本稿は日本常用漢字表にあげられている日本漢字音と現代中国漢字音との対照を中国人日本語学習者に対する漢字音の学習に役立つという見地から、日本漢字音と中国漢字音の対応関係を提示するのが目的とする（ただし、現代中国漢字音の標準語としての「普通語」に既に消滅入声は別稿で扱う）。

2. 先行研究及び先行研究の問題点

中国人日本語学習者の漢字教育に関する研究はさまざまであるが、中国漢字音を利用して、中国人日本語学習者のために、中国漢字音と日本漢字音との対照的研究もたくさんある。そのなかで、王琰潔（2009）は中国漢字音の声母と日本語漢字の音読みとの対応関係を整理し、王保田（2002）は中国漢字音の韻母と日本語漢字の音読みとの法則的關係を整理した。これらの先行研究については、一様に漢字における例外がある場合についての調査が不足している。王保田（2002）は現代中国語で喪失した入声についても例外と扱うなど、調査対象が適切かどうかの疑問ものこる。よって、これらの研究は日本漢字音と中国漢字音との関係を全般的に解明できているとは言えないであろう。

3. 調査対象及び分析方法

3. 1 漢字対象

本研究の調査対象とする漢字は、日本常用漢字（2010年内閣公示第2号常用漢字表の2136字）のうち、音読みを持っている2060の漢字を対象とする。

その2060の漢字の現代中国語音については、普通話の語音系統に依拠した『新華辞典』に準じ、調査をしている。

3. 2 分析方法

本論では調査対象とした漢字の中国普通話の音を一字ずつ調べ、日本漢字音の頭子音と中国漢字音の声母、日本漢字音頭子音以外の部分と中国漢字音の韻母を対象として、比較・対照する。この頭子音、残り部分、声母、韻母という定義について説明する。

① 頭子音

日本漢字音は一般的に一音節漢字音（例：打、利）、長音・撥音を含む一音節漢字音

（例：新、功）、二音節漢字音（例：役、冊）、拗音を含む漢字音（客、百）と分類される。中国漢字音は一字一音節であるため、本論は漢字音を頭部の子音と残りの部分に分けた。頭子音とは、例を挙げると「打」であれば[d]、「新」であれば[j]、「役」であれば[j]、「客」であれば[k]ということである（子音がない漢字音を頭子音ゼロに処理する）。

② 残りの部分

一般的な一音節漢字音（例：打、利）では、母音であるが、長音、撥音を含む一音節漢字音（例：新、功）と二音節漢字音（例：役、冊）、拗音を含む漢字音（客、百）の場合は、母音という用語は適当ではない。本論では分類のため、一音節の漢字音と二音節の漢字音を全部その漢字音の頭子音を除いた残りの部分を抽出し、分類する。

③ 声母

声母は中国漢字音の第一音素。日本語の子音に相当する。本論では中国語普通話の音の声母をこの21種とし、日本漢字音における頭子音と対照分析する。

④ 韻母

中国漢字音では声母以外の部分は韻母という。日本語の母音（語末の[N]を含む）に類似している。論ではこの韻母の分類を利用し、韻母と母音（語末の[N]を含む）との対照研究を行う（ピンインの音調は数字1・2・3・4に表示。例：字 zi⁴）。

4. 日本漢字音と中国漢字音における複数の音がある漢字の分類

本研究は声母と子音との対照、韻母と母音との対照に基づいて常用漢字を分類した。ここでは、中国漢字において、複数の音を持っている漢字いわゆる「多音字」が存在し、以下のようになっている。

① 中国漢字音における複数の音がある漢字

悪(e⁴·³/wu⁴)・会(hui⁴/kuai⁴)・解(jie³/xie⁴)・角(jiao³/jue²)・覺(jue²/jiao⁴)・樂(yue⁴/le⁴)・括(kuo⁴/gua¹)・還(huan²/hai²)・騎(qi²/ji⁴)・給(gei³/ji³)・強(qiang²/jiang⁴)・系(xi⁴/ji⁴)・血(xue⁴/xie³)・圈(quan¹/juan⁴)・查(cha⁴/zha¹)・行(xing²/hang²)・紅(hong²/gong¹)・校(xiao⁴/jiao⁴)・降(jiang⁴/xiang²)・差(cha²/chai¹)・

削(xiao¹/xue¹)・伺(si⁴/ci⁴)・似(si⁴/shi⁴)・臭(chou⁴/xiu⁴)・重(zhong⁴/chong²)・
 称(cheng¹/chen⁴)・乘(cheng²/chen⁴)・色(se⁴/shai³)・宿(su⁴/xiu³)・縮(suo¹/su⁴)・
 熟(shu²/shou²)・召(shao⁴/zhao⁴)・省(sheng³/xing³)・盛(sheng⁴/cheng²)・折(she²/zhe²)・
 説(shuo¹/shui⁴)・蔵(zang⁴/cang²)・率(shuai⁴/lü⁴)・馱(tuo²/duo⁴)・
 大(da⁴/dai⁴)・択(ze²/zhai²)・拓(ta⁴/tuo⁴)・単(dan¹/shan⁴)・弾(dan⁴/tan²)・畜
 (chu⁴/xu⁴)・着(zhuo²/zhao²)・町(ding¹/ting³)・長(chang²/zhang³)・朝(zhao¹/chao²)・
 澄(deng⁴/cheng²)・調(diao⁴/tiao²)・的(de/di⁴)・伝(chuan²/zhuan⁴)・都
 (du¹/dou¹)・度(du⁴/duo²)・南(nan²/na¹)・尿(niao⁴/sui¹)・粘(nian²/zhan¹)・伯(bo²/bai¹)・
 泊(bo²/po¹)・迫(po⁴/pai³)・薄(bao²/bo²)・番(fan¹/pan¹)・仏(fo²/fu²)・
 便(bian⁴/pian²)・朴(piao²/pu³)・没(mei²/mo⁴)・摩(mo²/ma¹)・抹(mo³/ma¹)・模(mo²/mu²)・
 落(luo⁴/la⁴)・了(liao³/le⁴)・緑(lü⁴/lü⁴)・露(lu⁴/lou⁴)・和(he²/huo⁴)・
 咽(yan³/ye⁴)・崖(ya²/ai²)・亀(gui¹/jun¹)・稽(ji¹/qi³)・塞(sai¹/se⁴)・柵
 (zha⁴/shan¹)・拶(za¹/zan³)・曾(zeng¹/ceng²)・椎(zhui¹/chui²)・剥(bo¹/bao¹)・
 刹 sha¹/cha⁴)

(計：86字)

② 日本漢字音における複数の音がある漢字

悪依遺一右易疫益遠音下化仮夏家華画回会絵解外街格楽間眼気期吉客脚九久宮去抛
 虚御漁京供強郷境競仰業極金勤兄形恵経月建嫌献権験懸元言蔽己庫後口工功甲行皇
 紅香貢黄興合今砂再歳財作冊殺雜惨子仕施示次自児事治執質蛇若寂主守宗拾修就衆
 十柔重從祝出緒女如除象上情色食織臣神人仁凶数井世正生成西声姓性青政星省清盛
 精静請石赤昔切節説然素早相装想贈率存太対体大代台团男壇地茶着丁直通弟定殿都
 土度豆登頭道読内南日納白拍博鉢発罰反伴判板煩泌病貧不夫富武封風物分文聞平兵
 米便步奉法亡坊望暴謀木凡幕末万無名命明模妄耗目役由唯有遊立律流留糧力緑礼鈴
 靈露和怨牙塞曾旦眉冥刹

(計：270字)

③ 中国漢字音と日本漢字音とも複数の音がある漢字

悪会解楽強行紅重色省盛説率大着都度南便模緑露和塞曾刹

(計：26字)

4. 1 日本漢字音が一つ、中国漢字音が複数

角覚括還騎給系血圈校降查差削伺似臭称乘宿縮熟召折蔵馱抉拓単弾畜町長朝澄調的
 伝尿粘伯泊迫薄番仏朴没摩抹落了咽崖亀稽柵拶椎剥

例：角(jiao³/jue²)カク

(計：60字)

4. 1. 1 日本漢字音に対応する中国漢字音が一つしかない

伺拓拓弾調尿粘迫薄摩抹没的駄町了括角騎系血折伝称似乘熟蔵縮稽剥崖撈落給朴

例：伺(si⁴/ci⁴) 現代日本漢字音はシ、対応する中国漢字音は si⁴

(計：36字)

4. 1. 2 日本漢字音は常用漢字表で示されていない音がある

澄伯单臭宿削差畜還覚番咽亀柵椎仏

例：澄(deng⁴/cheng²) 現代日本漢字音はチョウ、対応する中国漢字音は cheng²

中国漢字音 deng⁴と対応する現代日本漢字音は常用漢字表
に示されていない

(計：16字)

4. 1. 3 日本漢字音は一つが、対応する中国漢字音は二つがある

朝泊圈校降召長査

例：朝(zhao¹/chao²) 現代日本漢字音はチョウ、対応する中国漢字音は zhao¹

現代日本漢字音はチョウ、対応する中国漢字音は chao²

(計：8字)

4. 2 日本漢字音が複数、中国漢字音が一つ

依遺一右易疫益遠音下化仮夏家華画回絵外街格間眼気期吉客脚九久宮去拋虚御漁京
供郷境競仰業極金勤兄形恵経月建嫌献権験懸元言嚴己庫後口工功甲皇香貢黄興合今
砂再歳財作冊殺雜慘子仕施示次自児事治執質蛇若寂主守宗拾修就衆十柔従祝出緒女
如除象上情食織臣神人仁凶数井世正生成西声姓性青政星清精静請石赤昔切節然素早
相装想贈存太対体代台団男壇地茶丁直通弟定殿土豆登頭道詭内日納白拍博鉢発罰反
伴判板煩泌病貧不夫富武封風物分文聞平兵米歩奉法亡坊望暴謀木凡幕末万無名命明
妄耗目役由唯有遊立律流留糧力礼鈴靈怨牙且眉冥

例：依(yi¹) エ/イ

(計：244字)

4. 2. 1 日本漢字音に呉音・漢音・唐宋音・慣用音の二種以上の音がある

依遺一右易疫益遠音下化仮夏家華画回絵外街格間眼気期吉客脚九久宮去拋虚御漁京
供郷境競仰業極金勤兄形恵経月建嫌献権験懸元言嚴己庫後口工功甲皇香貢黄興合今
砂再歳財作冊雜慘子仕施示次自児事治執質蛇若寂主守宗拾修就衆十柔従祝緒女如除

象上情食織臣神人仁凶数井世正生成西声性青政星清精静請石赤昔節然素早相装想
 贈存太対体代台団男壇地茶丁直通弟定殿土豆登頭道内日納白拍博鉢發罰反伴判板煩
 泌病貧不夫富武封風物分文聞平兵米歩奉法亡坊望謀木凡幕末万無名命明妄耗目役由
 唯有遊立律流留糧力礼鈴靈怨牙且眉冥

例：依 (yi¹) 呉音 エ 漢音 イ

(計：239字)

4. 2. 2 日本漢字音と対応する中国漢字音が二つが、現代中国漢字音が一つしか残っていない

殺出読暴切

例：殺 (sha¹) 呉音 セツ 漢音 サツ
 shai¹ (消滅) 漢音 サイ

(計：5字)

4. 3 日本漢字音と中国漢字音とも複数

悪会解楽強行紅重色省盛説率大着都度南便模緑露和塞曾利

例：悪 (e⁴ / wu⁴) アク/オク

(計：26字)

4. 3. 1 一つの中国漢字音に対応する日本漢字音が一つ、呉音・漢音・唐音・慣用音の二種以上の音があり、もう一つの中国漢字音と対応する日本漢字音がない
 模都緑強重着盛色和利大露

例：模 (mo² / mu²) 呉音 モ 漢音 ボ 対応する漢字音は mu²

(計：12字)

4. 3. 2 違う中国漢字音により日本漢字音が違う

便悪度率楽行解省塞曾説会紅南

例：便 (bian⁴ / pian²) 呉音 ベン・ピン 対応する漢字音は bian⁴
 呉音ベン 対応する漢字音は pian²

(計：14字)

5. 分析結果

5. 1 声母と日本漢字音の対照

現代中国語漢字音の声母と常用漢字表に載っている現代日本漢字音の子音との対照関係に基づいて以下のように整理した。

- (1) 声母が b の漢字はは行、ば行と対応している。
- (2) 声母が p の漢字はは行、ぱ行と対応している。
- (3) 声母が m の漢字はは行、ば行、ま行と対応している。

例外：「秘」 mi⁴ 対応する現代日本漢字音はない。

bi⁴ 現代中国漢字音では消滅した音

秘は現代日本漢字音でヒの場合、現代中国漢字音では消滅した音 bi⁴と対応している。

「泌」 mi⁴ 対応する現代日本漢字音はない。

bi⁴ 現代中国漢字音では消滅した音

泌は現代日本漢字音でヒの場合、現代中国漢字音では消滅した音 bi⁴と対応している。

- (4) 声母が f の漢字はは行、ば行と対応している。

例外：「缶」 fou³ 対応する現代日本漢字音は常用漢字表に示されて

いない。guan⁴ 現代中国漢字の「罐」と同じ

缶は現代日本漢字音でカンの場合、中国漢字音の guan⁴ と対応する。いわゆる中国漢字の「罐」の意味として扱う。

「反」 fan³ たん (慣)

- (5) 声母が d の漢字はた行、だ行と対応している。

例外：「盾」 dun⁴ 対応する現代日本漢字音は常用漢字表に示されて

いない。shun³ 現代中国漢字音では消滅した音

盾は現代日本漢字音でジュンの場合、現代中国漢字音では消滅した音 shun³と対応している。

「疊」 die² じょう

疊の歴史仮名遣いはデフで、だ行と対応している。

「錠」 ding⁴ じょう

錠の歴史仮名遣いはチャウで、だ行と対応している。

「地」 di⁴ じ

地の歴史仮名遣いはヂで、だ行と対応している。

「定」 ding⁴ じょう

定の歴史仮名遣いはチャウで、だ行と対応している。

「豆」 dou⁴ ず

豆の歴史仮名遣いはヅで、だ行と対応している。

(6) 声母が t の漢字はた行、だ行と対応している。

例外：「推」 tui¹ 対応する現代日本漢字音は常用漢字表に示されていない。chui¹ 現代中国漢字音では消滅した音
推は現代日本漢字音でスイの場合、現代中国漢字音では消滅した音 chui¹ と対応している。

「条」 tiao² じょう

条の歴史仮名遣いはデウで、だ行と対応している。

「囟」 tu² ず

囟の歴史仮名遣いはヅで、だ行と対応している。

「頭」 tou² ず

頭の歴史仮名遣いはヅで、だ行と対応している。

(7) 声母が n の漢字はな行、が行、だ行と対応している。

例外：「鳥」 niao³ 対応する現代日本漢字音はない。

diao³ 現代中国漢字音では消滅した音

鳥は現代日本漢字音でチョウの場合、現代中国漢字音では消滅した音 diao³ と対応している。

「嬢」 niang² じょう

嬢の歴史仮名遣いはチャウで、だ行と対応している。

「釀」 niang² じょう

釀の歴史仮名遣いはチャウで、だ行と対応している。

「弄」 nong⁴ 対応する現代日本漢字音はない。

long⁴ 現代中国漢字音では消滅した音

弄の現代日本漢字音ロウの場合、現代中国漢字音で消滅した音 long⁴ と対応している。

「耐」 nai⁴ たい (慣) 「匿」 ni⁴ とく (慣)

「納」 na⁴ とう (慣)

(8) 声母が l の漢字はら行と対応している。

例外：「賃」 lin⁴ ちん (慣)

(9) 声母が g の漢字はか行と対応している。

例外：「該」 gai¹ がい (慣) 「概」 gai⁴ がい (慣)

「蓋」 gai⁴ がい (慣) 「剛」 gang¹ ごう (慣)

「宮」 gong¹ ぐう (慣)

(10) 声母が k の漢字はか行と対応している。

例外: 「慨」 gai⁴ がい (慣) 「拷」 kao³ ごう (慣)

(11) 声母が h の漢字はわ行 (半母音)、か行、が行対応している。

例外: 「横」 heng^{2,4} おう

横の歴史仮名遣いはワウで、わ行と対応している。

「回」 hui² え

回の歴史仮名遣いはエで、わ行と対応している。

「絵」 hui⁴ え

絵の歴史仮名遣いはエで、わ行と対応している。

「恵」 hui⁴ え

恵の歴史仮名遣いはエで、わ行と対応している。

「会」 hui⁴ え

会の歴史仮名遣いはエで、わ行と対応している。

「皇」 huang² おう

皇の歴史仮名遣いはワウで、わ行と対応している。

「黄」 huang² おう

黄の歴史仮名遣いはワウで、わ行と対応している。

「和」 he² お

和の歴史仮名遣いはヲで、わ行と対応している。

「耗」 hao⁴ もう (慣)

(12) 声母が j の漢字はか行、が行、さ行、ざ行と対応している。

(13) 声母が q の漢字はか行、が行、さ行、ざ行と対応している。

例外: 「鉛」 qian¹ 対応する現代日本漢字音はない。

yuan¹ 現代中国漢字音では消滅した音

鉛は現代日本漢字音でエンの場合、現代中国漢字音では

消滅した音 yuan¹ と対応している。

(14) 声母が x の漢字はか行、が行、さ行、ざ行と対応している。

例外: 「雄」 xiong² 対応する現代日本漢字音はない。

yong³ 現代中国漢字音では消滅した音

雄は現代日本漢字音でユウの場合、現代中国漢字音では消滅した音 yong³と対応している。

「蓄」 xu⁴ 対応する現代日本漢字音は常用漢字表に示されていない zhu³ 現代中国漢字音では消滅した音蓄の現代日本漢字音チクの場合、現代中国漢字音で消滅した音 zhu³と対応している。

「緒」 xu⁴ ちょ (慣) 「行」 xing² あん (唐)

(15) 声母が zh の漢字はた行、だ行、さ行、ざ行と対応している。

(16) 声母が ch の漢字はた行、だ行、さ行、ざ行と対応している。

例外：「喫」 chi¹ きつ (慣)

(17) 声母が sh の漢字はさ行、ざ行と対応している。

例外：「適」 shi⁴ てき (慣) 「輸」 shu¹ ゆ (慣)

「蛇」 she² だ (慣) 「石」 shi² こく (慣)

(18) 声母が r の漢字はや行 (半母音) ざ行、な行と対応している。

例外：「染」 ran³ せん (慣)

(19) 声母が z の漢字はさ行、ざ行と対応している。

例外：「沢」 ze² 対応する現代日本漢字音はない。

chai² 現代中国漢字音では消滅した音

沢の現代日本漢字音タクの場合、現代中国漢字音で消滅した音 chai²と対応している。

(20) 声母が c の漢字はさ行、ざ行と対応している。

(21) 声母が s の漢字はさ行、ざ行と対応している。

5. 2 韻母と日本漢字音との対照

以下の表は入声を除く中国漢字音の韻母と日本漢字音の母音との対照関係を簡単にまとめた。

① 尾音の対応

中国語 (ピンイン)	日本語 (IPA[])
-n (an · ian · uan · üan · en · in · uen · ün)	N
-ng (ang · iang · uang · eng · ing · ueng · ong · iong)	· · i

例外：「偵」 zhen¹ 対応する現代日本漢字音はない。

(-n) zheng¹ 現代中国漢字音では消滅した音
偵の現代日本漢字音テイの場合、現代中国漢字音で消滅した音
zheng¹ と対応している。

「貞」 zhen¹ 対応する現代日本漢字音はない。
zheng¹ 現代中国漢字音では消滅した音
貞の現代日本漢字音テイの場合、現代中国漢字音で消滅した音
zheng¹ と対応している。

「肯」 ken³ 対応する現代日本漢字音はない。
keng³ 現代中国漢字音では消滅した音
肯の現代日本漢字音コウの場合、現代中国漢字音で消滅した音
keng³ と対応している。

「懸」 xuan² け (慣) 「仁」 ren² に (慣)

「分」 fen^{1·2} ぶ (慣)

例外：「濱」 bang¹ 対応する現代日本漢字音は常用漢字表に示されていない。

(-ng) bin¹ 現代中国漢字の「濱」と同じ
浜は現代日本漢字音でヒンの場合、中国漢字音の bin¹ と対応する。
いわゆる中国漢字の「濱」の意味として扱う。

「登」 deng¹ と (慣) 「想」 xiang³ そ (慣)

「紅」 gong¹ く (呉) 「曾」 ceng² ぞ (呉)

「夢」 meng⁴ む (呉) 「風」 feng¹ ふ (呉)

「奉」 feng⁴ ぶ (呉) 「種」 zhong³ しゅ (呉)

「腫」 zhong³ しゅ (呉) 「衆」 zhong⁴ しゅ (呉)

「従」 cong² じゅ (呉) 「宮」 gong¹ く (呉)

「供」 gong⁴ く (呉) 「工」 gong¹ く (呉)

「功」 gong¹ く (呉) 「貢」 gong⁴ く (呉)

「通」 tong¹ つ (呉) 「請」 qing³ しん (唐)

「行」 xing² あん (唐) 「瓶」 ping² びん (唐)

「鈴」 ling² りん (唐)

②日本漢字音の音尾[aN]、[oN]、[uN (juN)]、[eN]、[iN]と韻母との対応

日本語 (IPA[]))	中国語 (ピンイン)
aN	an · uan · ian · ūan
waN	uan
iN	in · en · ūn
uN	en · ūn
juN	uen · ūn
eN	ian · ūan · an · uan
oN	an · ian · ūan · uen · in

例外：「缶」 fou³ 対応する日本漢字音は常用漢字表に示されていない。

(([aN]) guan⁴ 現代中国漢字の「罐」と同じ
缶は現代日本漢字音でカンの場合、中国漢字音の guan⁴ と対応する。いわゆる中国漢字の「罐」の意味として扱う。

「行」 xing² あん (唐)

「甲」 jia³ かん (慣)

例外：「唇」 chun² 対応する日本漢字音は常用漢字表に示されていない。

(([iN]) zhen¹ 現代中国漢字音では消滅した
唇の現代日本漢字音シイの場合、現代中国漢字音で消滅した音 zhen¹ と対応している。

「浜」 bang¹ 対応する日本漢字音は常用漢字表に示されていない。

bin¹ 現代中国漢字の「濱」と同じ

浜は現代日本漢字音でヒンの場合、中国漢字音の bin¹ と対応する。いわゆる中国漢字の「濱」の意味として扱う。

「瓶」 ping² びん (唐) 「鈴」 ling² りん (唐)

「請」 qing³ しん (唐) 「咽」 yan⁴ いん (慣)

「厘」 li² りん (慣) 「員」 yuan² いん (慣)

「院」 yuan⁴ いん (慣) 「便」 bian⁴ びん (呉)

「便」 mian² みる (呉) 「輪」 lun² りん (呉漢)

「倫」 lun² りん (呉漢)

例外：「寸」 cun⁴ 対応する現代日本漢字音はない。

(([uN]) qen¹ 現代中国漢字音では消滅した音

寸の現代日本漢字音スンの場合、現代中国字音で消滅した音 qen¹ と対応する。

例外：「洗」 xi³ 対応する現代日本漢字音は常用漢字表に示されていない。

([eN]) xian³ 現代中国漢字音では消滅した音。

洗の現代日本漢字音センの場合、現代中国漢字音で消滅した音 xian³ と対応している。

例外([oN])：「団」 tuan² とん (唐)

③ [o・]、[jo・]で終わる日本漢字音の歴史的仮名遣いと中国の韻母との対応

日本語 (IPA[])		中国語 (ピンイン)
現代	歴史的	
o・	au	ao・iao
	o・	ou
jo・	eu	iao・ao・iou
o・	au	ang・iang・uang・eng・ing
	wau	uang
	o・	ong・eng
jo・	au	iang
	jau	ang・iang・uang・ing・eng
	jo・	eng・ong・iong

例外： ([o・] (現代) — [au] (歴史的) — ao・iao)

「貿」 mao⁴ 対応する日本漢字音はない。

mou⁴ 現代中国漢字音では消滅した音

貿の現代日本漢字音ボウの場合、現代中国漢字音で消滅した音 mou⁴ と対応している。

「暴」 bao⁴ ぼう (呉) 歴史仮名遣いはボウである。

「報」 bao⁴ ほう (呉漢) 歴史仮名遣いはホウである。

「褒」 bao¹ ほう (漢) 歴史仮名遣いはホウである。

「冒」 mao⁴ ぼう (漢) 歴史仮名遣いはボウである。

「毛」 mao² もう (呉) 歴史仮名遣いはモウである。

「帽」 mao⁴ ぼう (漢) 歴史仮名遣いはボウである。

例外： ([o・] (現代) — [o・] (歴史的) — ong・eng)

「興」 xing¹ 対応する現代日本漢字音はない。

qeng¹ 現代中国漢字音では消滅した音

興の現代日本漢字音コウの場合、現代中国漢字音で消滅した音 qeng¹ と対応している。

「応」 ying¹ 対応する現代日本漢字音はない。

yeng¹ 現代中国漢字音では消滅した音

応の現代日本漢字音オウの場合、現代中国漢字音で消滅した音 yeng¹ と対応している。

例外：([jo・] (現代) —[jau] (歴史的) —ang・iang・uang・ing・eng)

「兄」 xiong¹ 対応する現代日本漢字音はない。

xeng¹ 現代中国漢字音では消滅した音

兄の現代日本漢字音キョウの場合、現代中国漢字音で消滅した音 xeng¹ と対応している。

例外：([jo・] (現代) —[jo・] (歴史的) —eng・ong・iong)

「凝」 ning² 対応する現代日本漢字音はない。

neng² 現代中国漢字音では消滅した音

凝の現代日本漢字音ギョウの場合、現代中国漢字音で消滅した音 neng² と対応している。

「氷」 bing¹ 対応する現代日本漢字音はない。

beng¹ 現代中国漢字音では消滅した音

氷の現代日本漢字音ヒョウの場合、現代中国漢字音で消滅した音 beng¹ と対応している。

④ [ju・]・[u・]で終わる日本漢字音の歴史的仮名遣いと韻母との対応

日本語 (IPA[])		中国語 (ピンイン)
現代	歴史的	
ju・	iu	iou・ou・(ü)
	ju・	u・ong・iong

例外：([ju・] (現代) —[ju・] (歴史的) —u・ong・iong)

「入」 ru⁴ 対応する現代日本漢字音はない。

ri⁴ 現代中国漢字音では消滅した音

入の現代日本漢字音ニュウの場合、現代中国漢字音で消滅した音

ri⁴と対応している。

「铸」 zhu⁴ ちゅう (慣) 「臧」 cu⁴ しゅう (慣)

⑤ [u・]で終わる日本漢字音と韻母との対応

日本語 (IPA[])	中国語 (ピンイン)
u・	u・ou
	ong

例外：([u・]—ong)

「封」 feng¹ 対応する現代日本漢字音はない。

fong¹ 現代中国漢字音では消滅した音

封の現代日本漢字音フウの場合、現代中国漢字音で消滅した音

fong¹ と対応している。

「風」 feng¹ 対応する現代日本漢字音はない。

fong¹ 現代中国漢字音では消滅した音

風の現代日本漢字音フウの場合、現代中国漢字音で消滅した音

fong¹ と対応している。

⑥ [ai]・[ei]・[ui]で終わる日本漢字音と韻母との対応関係

日本語 (IPA[])	中国語 (ピンイン)
ai	ai・ei・uai・uei・i・ia・ie
ei	i、uei eng・ing・iong
ui	ei、uei、uai

例外：「婿」 xu⁴ 対応する現代日本漢字音はない。

xi⁴ 現代中国漢字音では消滅した音

婿の現代日本漢字音セイの場合、現代中国漢字音で消滅した音 xi⁴

と対応している。

「榮」 rong² 対応する現代日本漢字音はない。

yeng¹ 現代中国漢字音では消滅した音

榮の現代日本漢字音エイの場合、現代中国漢字音で消滅した音

yeng¹ と対応している。

6. まとめ

日本漢字音と中国漢字音の対応関係を以上のように提示した。その対応関係に沿わない漢字の音に対して、日本漢字音の歴史仮名遣いに還元したり、中国語の古音を調査したりすることを通して、原因を一部説明した。例外の漢字音の説明をし、注意させ、教育現場で日本漢字音と中国漢字音の対応関係を利用し、常用漢字の漢字音を指導すれば、効果があるのではないかと考える。また、日本漢字音と中国漢字音における複数の音がある漢字を処理しなければならない。たとえば、複数の中国漢字音がある場合、どの漢字音は日本漢字音に対応するか明らかにしないと、日本漢字音と中国漢字音の対応関係も明らかにできない。したがって、複数の漢字音がある漢字の処理も軽視すべきではないと思う。

7. 今後の課題

現代中国漢字音と現代日本漢字音の間に対応関係に見出せない例外的な字音について、今後の調査としてつづけて思う。そして、日本語と中国語はまったく違う体系に属する言語なので、規則化するのが大変難しく、たくさんの例外の漢字音の説明ができなかった。その例外の原因は日本語と中国語の音韻変化であるか、漢字音の流出地域が違うのか解明していないが、今後の課題として研究を続けていると思う。もう一つの問題点は、漢字音は、発音する場合、単独で文中に現れるのではなく、二字以上組み合わせて、語彙として現れるものである。その際、語尾の「く」、「つ」の部分の音が変化する場合もある。これは促音の問題である。また、次の漢字が前の漢字の音末の部分によって変化するのもある(濁音)。そのほか、連声、連濁、「下手」のような特殊の音がある場合もある。それらの問題も考察しなければならないと思う。

参考文献

- 今井幹夫 (1875) 「漢語指導としての漢字教育」『日本語教育 (28号)』日本語教育学会
- 小川環樹・西田太郎・赤塚忠 (1994) 『角川新字源 (改定版)』角川書店
- 王 琰潔 (2009) 「日本漢字音と中国漢字音との対応関係」『日本語学習と研究』对外経済貿易大学
- 王 保田 (2002) 「漢語の韻母と日本漢字音の対応規則」『日本語学習と研究』对外経済貿易大学

- 王 力 (2003) 『漢語音韻』 中華書局
- 兼本 敏 (1997) 「当用漢字音読み普通話との関連」『沖繩国際大学外国語研究』 沖繩国際大学外国語学会
- 金田一春彦 (1963) 「発音から見た日本語」『日本語教育 (3号)』 日本語教育学会
- 小泉 保 (1993) 『日本語教師のための言語学入門』 大修館書店
- 佐藤 進・濱口富士雄 (2000) 『全訳漢辞海』 三省堂
- 周錦樟 (2007) 「“o” 韻母について」『中国語学』 日本中国学会
- 杉山太郎 (1984) 「日本語の発音—中国語の発音の学習から」『日本語教育 (55号)』 日本語教育学会
- 太陽 禹 (2003) 「日本漢字の字音研究」『日本問題研究』 河北大学
- 張 慶翔・劉 森 (2005) 『現代漢語概論』 上海大学出版社
- 森 博達 (1994) 「日本の漢字音」『日本語論』 山本書房
- 諸橋轍次・鎌田 正・米山寅太郎 (1982) 『広漢和辞典』 大修館書店
- 渡辺 実著・戦 慶勝訳 (2006) 『現代日本語概論』 大連理工出版社
- 和田利政・金田 弘 (2003) 『国語要説 五訂版』 大日本図書

(と ていてい・首都大学東京大学院生)